

「親子で木工教室」の実施及び「木工工作コンクール」の開催支援について

1 はじめに

県北広域振興局林務部では久慈地域の子供たちに、木工工作の楽しさを通じて木への親しみや関心を高めることを目的として、久慈市アンバーホールで開催された第50回久慈地方産業まつりで「親子で木工教室」を実施したほか、久慈地方木材青壮年協議会の主催による「第19回久慈地方木工工作コンクール」の開催支援を行いましたので、この概要を紹介します。

2 親子で木工教室

10月9日(日)開催の第50回久慈地方産業まつりでは、林業フェアのブースを設けて、「親子で木工教室」のほか、原木乾いたけの試食販売や木炭の展示販売、地域材や高性能林業機械の展示などを行いました。



当日は天候にも恵まれ、34組80名の親子が参加し、マガジンラックや小物入れ、ティッシュボックスなどを作りました。普段使わない金づちを使っての工作は、小さな子供達には難しいようでしたが、林務部職員のサポートを受けて、木との触れ合いを楽しみながら、みなさん一生懸命作っていました。

3 第19回久慈地方木工工作コンクール

久慈地方木材青壮年協議会の主催により小中学生を対象に開催され、9月15日(木)の審査会では226点の応募から、各市町村長賞等の最優秀作品23点、優秀作品21点が選ばれました。応募作品は久慈市アンバーホールに展示され、10月9日(日)に開催された表彰式では、アカマツの木製賞状を授与しました。振興局は後援として開催を支援し、最優秀作品のうち3点を林務部長賞に選定しました。



年々応募作品のレベルが上がっており、今回も多く力作が見られました。最優秀作品は岩手県木材青壮年協議会の県大会に出品され、さらには、上位入賞作品が全国の木工工作コンクール審査会に出展されることになっています。

